

産・学・官

連携事例集

—企業マッチング事例—



INSTITUTE OF INDUSTRIAL PROMOTION

公益財団法人
川崎市産業振興財団

令和7年3月

はじめに

公益財団法人川崎市産業振興財団は 1988 年（昭和 63 年）に川崎市の出捐により設立されました。以来、川崎市産業振興会館の機能を活用し市内中小企業の総合的支援機関として、情報交流促進や人材育成、ワンストップ相談、起業促進、産学連携、知財戦略、海外展開など、さまざまな支援メニューを連携させた「総合的な支援サービスの提供」に注力しております。また、新川崎・創造のもり地区のビジネスインキュベーション施設「かわさき新産業創造センター（KBIC）」の管理運営並びにベンチャー企業支援、殿町国際戦略拠点キングスカイフロントでは体内病院の実現に向けて研究を進める「ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）」での最先端の医療・薬学分野における研究開発、さらには同地域のクラスター運営にも取り組んでいます。

そして実際に経営者や技術者の方々とお会いし、要望に応じて助成金情報の提供、ビジネスパートナーや大学の紹介などを実施して参りました。

そうした訪問活動の中で出会った、産学連携や産産連携を通じた新技術や新製品の開発ですばらしい実績を残す企業を取材させて頂き、このたび連携に至った経緯や取り組み方をまとめた「連携事例集」として発行することとなりました。

新技術・新製品の研究開発について、「興味はあるが、やり方が分からない」「気後れしてしまう」という声も多く聞こえるように、経験のない企業にとっては産学連携や産産連携はハードルが高い課題として敬遠されている節がある一方で、一度でも経験したことがある企業は、以後も新製品・新技術開発の有効な手段として積極的に取り組んでいるようです。

どうすれば産学連携や産産連携が出来るのか、興味はあるが分からない、そんな経営者の皆様にとって、本冊子が参考の一助になれば幸いです。

最後になりましたが、本書の発行にあたり取材にご協力いただいた企業の方々に厚く御礼を申し上げます。

令和 7 年 3 月

公益財団法人 川崎市産業振興財団

目 次

頁

事例紹介（掲載事案 5 件）

1. 佐々木工機株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
2. 台湾における産学連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
3. 株式会社高喜商店・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
4. 株式会社 tappi.lab・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
5. 外国人材活躍応援フォーラムについて・・・・・・・・・・ 12

支援事業紹介

- コーディネート支援活動・出張キャラバン隊
知的財産交流事業（川崎市知的財産戦略推進プログラム重点事業）・・・・・・ 15
- 産学連携 試作開発促進プロジェクト
川崎市産業振興財団の中小企業支援活動・・・・・・ 16
- かわさき起業家オーディション・・・・・・ 17
- 第 21 回 川崎ものづくりブランド認定製品・技術一覧・・・・・・ 18

連携事例紹介

佐々木工機株式会社

作業効率を向上させるバイアルスタンドの製作 ～大学発ベンチャー企業の課題を試作で解決～



代表取締役社長
佐々木 政仁

佐々木工機株式会社は、金属部品加工・メカトロ装置設計製作などを行う企業である。マシニングセンタ・NC旋盤・NCフライス加工・アーク・アルゴン溶接・放電加工等による部品加工のほか、自動車部品耐久試験機、高齢者福祉施設向けレクリエーション機器などを始めとする各種機械装置の設計から製作・組立て・調整まで対応している。公益財団法人川崎市産業振興財団（以下、「当財団」）の知財マッチング事業においては、株式会社ミットヨの開放特許を用いて、石の定盤など、磁石のつかない定盤で使用できる真空吸着型スタンドの製品化を行っている。

また、同社は当財団の「試作開発促進プロジェクト」のメンバー企業でもある。試作開発促進プロジェクトとは、産学連携及び企業等の研究支援の目的で、研究、実験に使用する機器の試作を川崎市内のものづくり企業が支援するもので、連携する大学等からの依頼を受け、プロジェクトのメンバー企業等を紹介しているものである。

■ 試作の依頼

そのような中、聖マリアンナ医科大学発のベンチャー企業である株式会社細胞応用技術研究所より試作の依頼が来た。同社は、実用化された再生医療を全国のクリニックに普及させ、再生医療をもっと身近に感じる社会の実現に貢献することを目指している企業である。同社より、業務の中のバイアルを用いた作業中に、バイアルが倒れないように支えることができる台、治具のようなものの製作ができないかとの連絡を受けた。バイアルとは一般には注射液や試料などを入れる小瓶である。現在は別用途の既存の器具等を組み合わせたりして対応しているが作業性が悪いため、専用のものが欲しいとのことであった。

具体的な要望としては、作業中に倒れないようにすることのほか、必要に応じ、数個つなげることができると尚よいとの要望であった。また、真空凍結乾燥時には -80°C に、滅菌時には 121°C の高温となるため、それに耐える必要があるとのことであった。現在市販品としては、 5×10 で50個など、比較的大量のバイアルを固定するスタンドはあるが、一つのバイアルを固定するもの、及び連結ができるものは見つからなかった。

■ 試作品の製作、納品へ

お話を伺い、試作開発促進プロジェクト参加企業である佐々木工機に試作を相談した。数回の面談を行い、構造の設計においては当財団産学連携コーディネータも一緒になって案を出し、それに対し佐々木工機側で製造性を良くするための工夫などが追加された。いくつかの案を検討、試作を行い、写真のようなものを試作した。

細胞応用技術研究所にて業務に使用した結果、使い勝手も上々で、作業効率も向上したとのお話があった。そしてその後、数回の量産の依頼を頂き、現在も同社の業務効率の向上に役立っているとのことであった。

このように試作開発促進プロジェクトでは、本格的な実験装置だけでなく作業を手助けするような治具やニッチな、ちょっとした用途の小物等の製作も対応している。佐々木工機は、その広い守備範囲の設計、製造技術を用いて、今後も積極的に事業を推進していく予定である。



バイアルスタンド (1 個)



10 個連結したもの

会社概要

企 業 名 : 佐々木工機株式会社

創 立 : 1959 年 (昭和 34 年) 1 月

所 在 地 : 神奈川県川崎市高津区下野毛 1-9-33

電 話 : 044-844-0338

代 表 者 : 佐々木 政仁

事 業 内 容 : 部品加工、自動化・省力化機械装置製造、各種試験機製造

U R L : <https://www.sasaki-koki.co.jp/>

【最新版】台湾における産学連携

台湾における産学連携についての調査及び考察

令和5年10月23日、台湾の財団法人工業技術研究院（以下、「ITRI」）と公益財団法人川崎市産業振興財団（以下、「当財団」）は、それぞれの持つ技術やネットワークを活かし相互に協力して、スタートアップ・ベンチャー等中小企業の発展及び地域経済の活性化に貢献するため、「包括連携に関する覚書」を締結した。

また、令和6年、川崎市海外ビジネス支援センター（KOBS）では川崎市と共に川崎市内企業と台湾企業のマッチングを行っている。

今回は、台湾現地の産学連携の最新情報を報告する。

工業技術研究院（ITRI）

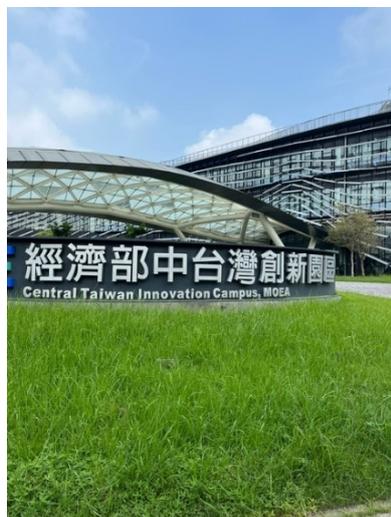
1973年7月設立のITRIは、職員数6,000名超の世界有数の応用技術研究機関で、先端技術研究開発を通して産業発展の推進、経済価値の創造、社会福祉を高め、幸せな生活を支えることを使命としている。

ITRIはTSMC、UMC、台湾マスクコーポレーション、エピスターコーポレーション、ミールオートメーションコーポレーション、台湾バイオマテリアルなどの民間企業を設立し、インキュベートしてきた。

基礎研究よりも実用的な研究に力点を置いているという特徴がある。海外からも優秀な研究者を呼び寄せ、産学官によるイノベーションをITRIのような国機関が率先して行っている。

近年は環境・ライフサイエンス分野に注力している。

台中に環境・ヘルスケア・農業・IoT分野のエコシステム形成として「中分院」を設置し、実証実験・研究開発を行うフィールドを民間企業へ提供している。



台湾經濟部中台灣革新園區（台中）



ITRI 中分院（台中）



ITRI 本部（新竹）

国立清華大学

1955年設立。本校は新竹市。工学系以外にも人文社会学においても高等教育、研究を行っている総合大学。2002年、指定国立研究大学7校（現在6校）の一つである。日本の京都大学に相当。

電気情報学部、理学部、工学部、生命科学部、原子力科学部、人文社会学部（文学、経済、歴史、言語、哲学、人類学他）、テクノロジー管理学部、教育学部、芸術学部及び各研究センターを有する。

2021年日台バイオシンポジウムでは科学技術振興機構理事長の濱口道成氏、京都大学総長の湊長博氏、奈良先端科学技術大学院大学の塩崎一裕氏、台湾/輔仁大学学長の江漢声氏、そして台湾/国立清華大学学長の賀陳弘氏などが参加した。

校内にはTSMCが寄付した巨大な校舎（イノベーション・インキュベーション棟）があり、第2のTSMC

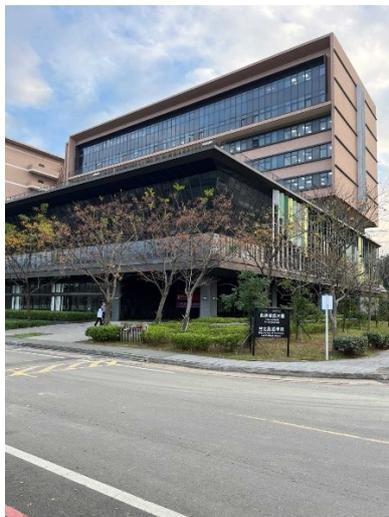
を生み出すべく産学で研究を行っている。

交通大学（東京科学大学に相当）が隣接しており、台湾国内No.2、3に相当する大学の本部が新竹にある。尚、台北大学は台北中心部にある。

北森微流體研發股份有限公司（IMT TAIWAN）が同大学のスピンオフ企業として2021年に設立した。



清華大学 全景



イノベーション・インキュベーション棟



國際産学連携センター

■ Taiwan Innotech Expo (TIE)

TIEは台湾の複数の省庁が主催する先端技術見本市である。

主な分野は、未来技術（ドローン、ウェアラブル技術、ロボット）、グリーン/再生可能エネルギー、半導体産業、情報通信技術（ICT）、電源、測定、光学/ストレージデバイス、バイオテクノロジー、医薬品、農業、食品、飲料、無機/有機化学、高分子化学、液晶、フラットパネルディスプレイ。

令和6年度は川崎市内企業6社が台湾に赴き、視察・マッチングを行った。

国立陽明交通大学（理系大学）他、多数の大学が出展していた。



展示会場全体



国立陽明交通大学ブース



ライフサイエンス分野ブース

■ 今後の展望

複数の現地研究機関・大学等から「日本の基礎研究における層の厚さ」「台湾の社会実装化へのスピード」という双方の良い部分での協業ができれば世界をリードできる、とのコメントがあった。産学連携の国際化は益々広がりを見せるだろう。

株式会社高喜商店 (産産マッチング)

創業120年を超える老舗海苔問屋 と障害者施設とのコラボ企画 ～地域が手を取り合い目指す持続可能な社会～



代表取締役 高田 久

創業から120年を超えて海苔と向き合い続け、海苔製造元として「本物の海苔」をお届けしている株式会社高喜商店の取組を紹介する。

日本古来の伝統食材であり、普通の食材であり、可能性に満ちた海苔。海苔を通して食卓をより華やかにしたい。生活をより豊かにしたい。そして小さな幸せを提供したい。そんな当社の想いの一端を伝えたい。

■ 創業明治34年、海苔とともに124年

当社の創業は明治34年(1901年)、今年で124年目を迎える老舗の海苔問屋である。当初は川崎で養殖された大師海苔を売り歩きしていたが、現在は東京湾を中心に、全国で生産された海苔を入札で仕入れ、一枚ずつ火入れして焼海苔に加工し、百貨店や寿司屋など飲食店への卸売りと、店頭や通販での小売りも行っている。

また、当社のプレミアム海苔ギフト「喜(よろこび)」は、「全国推奨観光土産品審査会」において栄える「グローバル部門特別審査優秀賞」を受賞している。本審査会は、日本商工会議所と全国観光土産品連盟が1960年度から毎年行ってきた歴史と格式ある表彰制度であり、全国各地の土産品の中から、特に優秀な商品だけに与えられるアワードである。

「喜」は当社が創業120周年を記念に、それまで培った伝統と技術の全てを注ぎ込んだ集大成の焼海苔である。原料には「推一等」が使用されている。推一等とは、佐賀県有明海で収穫される「初摘み」のうち、味・香り・色艶・食感の全てが優れる最高ランクの「推等級」の中から、さらに厳選を重ねて認められた“トップオブザトップ”の海苔である。



■ 川崎市内企業とのコラボ

老舗と聞くと新しいことにチャレンジするイメージが湧かないかもしれないが、当社は新しいことに果敢にチャレンジしている。今回、アートを通じて障害者の就労を支援するNPO法人「studio FLAT（スタジオフラット）」（幸区）とのコラボ企画について紹介する。

1つ目は、創業120年を機に開発した「香辛子（こうがらし）海苔」である。川崎生まれの香辛料「香辛子」を使った自信作。かわさき生まれの燃焼系やさしい「香辛子」は、燃焼力の高い唐辛子であるハバネロやブートジョロキアから生まれた香りがとてもフルーティーで辛みが少ない「食べられるハーブペッパー」である。

商品パッケージには、社会貢献への思いも込めて、NPO法人「studio FLAT」にデザインを依頼。利用者の阿部堅太さんが描いた色鮮やかな作品「MUSIC」を採用した。

2つ目は瀬戸内レモンを皮まで丸ごと使用した「せとうちレモン海苔」である。

瀬戸内の太陽と大地の恵みをたっぷり吸収した爽やかなレモンの香りと、当店人気の甘辛タレが効いた海苔の旨みとのマリアージュが楽しめる。

こちらの商品のパッケージもNPO法人「studio FLAT」にデザインを依頼し、利用者の宮本憲史朗さんが描いた「華-LEMON」を採用した。

株式会社高喜商店では、作品を購入した上でパッケージデザインに取り入れた商品の製造と販売を行い、その売上の一部がNPO法人「studio FLAT」へ還元する事で、持続的に活動支援を行うプロジェクトを実施している。

味のこだわりはもちろん、海苔を通じて、消費者に小さな幸せを提供するだけでなく、社会貢献にも携わっている株式会社高喜商店のこれからの期待したい。



会社概要

企業名：株式会社高喜商店

創立：1901年（明治34年）

所在地：神奈川県川崎市中原区木月 4-3-5

電話番号：044-411-2339

代表者：高田 久

事業内容：海苔の製造卸、販売

URL：<https://www.takaki-nori.com/>



代表取締役 園田 孝一

青森ひばの魅力伝えたい 環境・からだにも配慮した 川崎発の青森ひば製品

年間の伐採量が制限されている青森ひば。

本来捨てられていたそのおがくずを再利用し、環境にもからだにも配慮した「やさしい」を実現した安心安全な川崎発の青森ひば製品を紹介する。

■ 青森ひばとは、その特性と効果

青森ひばとは、ヒノキ科に属する針葉樹。100 万年前に生まれた樹木と言われ、日本三大美林の一つと呼ばれる青森ひばの原生林としても有名で、成長も遅いため大変希少な樹木である。非常に高価な材木であり、年間の伐採量は制限されている。そのため、神社の鳥居などに使われる高尚な材木でもある。

日本国内でひばの木は複数の生育地が存在するが「青森ひば」は特にその有効成分を多く含んでいると言われている。害虫が寄り付かず腐食しにくい特性を持っていることからその樹齢も数百年と長く、青森県では県木として愛されている。また、青森ひばはヒノキのような香りを持っており、この香り成分には消臭効果も含まれ、端材を袋詰めした消臭商品などは多く親しまれている。

青森ひばにはヒノキチオールをはじめとした様々な成分が含まれており、カビ菌だけにとどまらず様々な臭いのもととなる「菌」を抑制し寄せ付けない。あらゆる“菌”に効果があるため、防カビ・防菌・消臭・脱臭の効果がある。それだけではなくシロアリ、ゴキブリといった害虫への忌避効果もある。また、ヒノキのような薫香はリラックス効果をもたらしストレス軽減や精神安定にも繋がる。



■ 青森ひばの魅力伝えたい ニオイトリ MASH の製品化

株式会社 tappi. lab 設立以前、優れた消臭効果や防カビ、抗菌などの効果を持つ青森ひばに目をつけた研究員が、青森ひば精油を買い付け、繰り返し研究開発を行い、アルコール及びグリセリンなどを使用しない青森ひば精油と水の乳化に成功。消臭効果の確認の為に当時研究員が良く利用していた「有限会社グリーンフーズあつみ おつけもの慶」に相談をしたところ、搬入車両や催事場のレンタル什器での消臭実験を行ってくれる事になり、約4年に渡り実験を繰り返し現在の「ニオイトリ MASH」が完成。「ニオイトリ MASH」完成を機に販売について検討していたところ、「有限会社グリーンフーズあつみ おつけもの慶」の方々に関係各所のご紹介を含む後押しをもらい、株式会社 tappi. lab の設立を決定。株式会社 tappi. lab 設立に伴い、開発段階から青森ひば精油を購入していた「株式会社龍飛観光」の代表にも相談と報告をした結果、事業に参画頂ける事になり青森営業所も設立し原料から製品まで安心出来る製品を利用者にお届け出来る事となった。現在、株式会社灰吹屋薬局（神奈川県川崎市、代表：鈴木孝寛）が運

営する川崎市のドラッグストア5店舗での販売の他、EC サイトにて販売している。

< 効能と安全性 >

害虫忌避の試験

ダニ・蚊・ゴキブリ・トコジラミに対する忌避効果を評価する試験において、各対象に対し62%~100%の忌避率となる結果が出ている。

消臭効果の試験

足、汗臭、加齢臭、排せ臭、タバコ、生ごみの臭いのもととなるアセトアルデヒド、酢酸、イソ吉草酸、硫化水素など10の成分の24時間での減少量を計測する試験で、消臭即効性が確認された。

食品に対する消臭効果試験

市販されているキムチとニオイトリ MASH を同一の袋に入れ、時間ごとの臭気を官能試験によって確認。芳香消臭脱臭剤協議会の定める臭覚測定法により悪臭物質の90%除去試験(10時間以内)であるとされ合格判定を得ている。

ウイルスに対する効果試験

付着ウイルス：インフルエンザA型 ノロウイルス

浮遊ウイルス：インフルエンザウイルスA型

に対して84.15%~99.68%の効果作用が認められている。

安全性試験に関して

一次皮膚刺激性：弱い刺激性=化粧品の安全基準に相当する結果を得ている。

眼刺激性：眼への投与による刺激性の確認にて眼に入っても刺激が無いとの結果を得ている。

経口毒性：経口投与による毒性の確認にて最も毒性の低い結果を得ている。

身体にもやさしいニオイトリ MASH は、小さいお子様がいるご家庭でも、ペットにも安心して使用ができる。様々なシーンで活用できるニオイトリ MASH への注目は今後益々高まりそうだ。



会社概要

企業名：株式会社 tappi. lab

創立：2024年(令和6年)7月17日

所在地：本社 神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-2

青森支店 青森県東津軽郡外ヶ浜町三厩中浜107

電話：050-6883-8806

代表者：園田 孝一

事業内容：青森ひば精油をはじめとした精油の乳化及び商品開発、製造、販売

URL：<https://tappilab.co.jp/>

外国人材活躍応援フォーラムについて

(新産業政策研究事業)

外国人選手が活躍している川崎フロンターレの事例から、外国人材がいきいきと活躍するために、分野や規模等が異なる企業でも取り入れられることは何かを検討！

政府が「異次元の少子化対策」を掲げるほど、現在日本では少子化が進み、人材不足問題が深刻化している。そこで、公益財団法人川崎市産業振興財団（以下、「当財団」）では、「外国人雇用・就労支援等検討会」を設置し、2021年度及び2022年度の2年間（各年度4回）にわたり、外国人雇用をおこなう市内の中小企業や大手企業へのヒアリング調査、市内外国人起業家からの状況報告などをもとに、今後の外国人雇用・就労支援等のあり方について議論活動報告をまとめた。そして、2023年度から「外国人材活躍応援フォーラム」を開催するなど、外国人材活躍に関する情報提供の場作りに加え、コミュニティの場として活動を行っている。

■ 川崎フロンターレを招き、外国人材活躍応援フォーラムを開催

川崎フロンターレは川崎市をホームタウンとしたプロサッカーチーム。「スポーツの力で、人を、この街を、もっと笑顔に」をミッションとして掲げ、川崎市内企業を中心としたサポートショップ加盟店やサポーターにさまざまな形で支えられながら、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。また、他企業と連携し、Jリーグでは初めてベトナムでのサッカー教室の普及を進め、現在はベトナムとタイで、子どもたちと社会への貢献を目指して活動を行っている。

このように自社の持つ資源を活用しながら、国内・海外・業種を問わず、パートナーとなる企業とともに、地域社会への貢献を目指し活動する川崎フロンターレと当財団は、今までいろいろな形で連携を図ってきた。今回はその川崎フロンターレにご協力いただき、「外国人材に自社で活躍してもらうためには」をテーマに、実際に活躍されている外国人選手の事例なども挙げながらお話していただいた。



(左から古川氏、竹内氏、笠間氏)



(トークセッション1 会場の様子)

■ 「チームマネジメント」と「ダイバーシティマネジメント」

トークセッション1では、行政書士かさまゆみこ事務所 代表 笠間由美子氏をファシリテーターとして、川崎フロンターレ強化本部部長の竹内弘明氏と選手通訳の古川宏人氏にご登壇いただき「チームマネジメント」や「外国人選手がもたらすチームの成長」等についてお話を伺った。

お二人からは、実際の事例を交えながら選手と選手をつなげる通訳というポジションの重要性や、海外と日本における「活躍」に対する考え方の違い、外国人選手が加わることによってもたらされる企業の付加価値向上、さらには外国人が求める成長を理解し、自社の成長につながる工夫などについて、さまざまなヒントやノウハウを共有いただいた。

またトークセッション 2 では、日販グローバル株式会社 代表取締役 米山伸郎氏をファシリテーターとし、トークセッション 1 にご参加いただいた 3 名に加え、テクノブレイブ株式会社 CSR 推進アドバイザー／元外国人市民代表者会議委員長の IT エンジニア ペレーラ ラヒル サンケータ氏と株式会社スタックス 代表取締役社長 星野佳史氏を加えた 6 名で実施。トークセッション 1 の内容を基に、日本で活躍する外国人といった立場や外国人材を雇用・支援するといった立場の視点も加えて、ディスカッションいただいた。

プロスポーツという特殊な分野とあって、本セミナーにご参加いただいた方々と業種や分野が違いはしたものの、「いろいろな考え方や価値観、技術や能力などはあればあるほど、チーム／企業は強くなる」や「ダイバーシティマネジメントをうまく行うことによる果実は何か」など、学べることが多い場であった。本セミナーを、今後の外国人材受入れ、そして、外国人材活躍のための一助にいただければ本望だ。



(左から米山氏、星野氏)



(左からペレーラ氏、笠間氏)

■ 今後の展開について

今後についても、外国人材活躍に関する情報提供の場作りに加え、コミュニティの場として、活動を続けていく。具体的には、年 2~3 回のセミナーの開催を予定。

日本での人材確保が年々難しくなる今、人材確保のために動こうとしている企業様にとって、少しでも有益な情報を発信できればと考えている。

「外国人材活躍応援フォーラム」に関する問い合わせ先

公益財団法人川崎市産業振興財団 新産業振興課

電話:044-548-4167 / mail: shinjigy@kawasaki-net.ne.jp

支援事業紹介

コーディネーター支援活動・出張キャラバン隊

中小企業の新製品・新技術開発や大学等との共同研究などの新たな事業展開に対して、広範かつ専門的な知見を有する民間専門家等のコーディネータおよび各支援機関のスタッフ等が直接企業を訪問し、新規事業展開に活用できる各種施策の情報提供や、企業・大学・研究機関等の連携先紹介、課題解決等を目的に出張型のワンストップサービスを実施しています。

また、企業訪問活動を通じて出会った国内・世界のトップシェアを誇る製品、オンリーワンの技術、匠の技、生まれたてのアイデアなどについては、神奈川新聞社・日刊工業新聞社などのマスメディアへの情報提供を行なうことで、企業や製品のPRのお手伝いを行なっております。

【新産業振興課 連携推進係／044-548-4152】

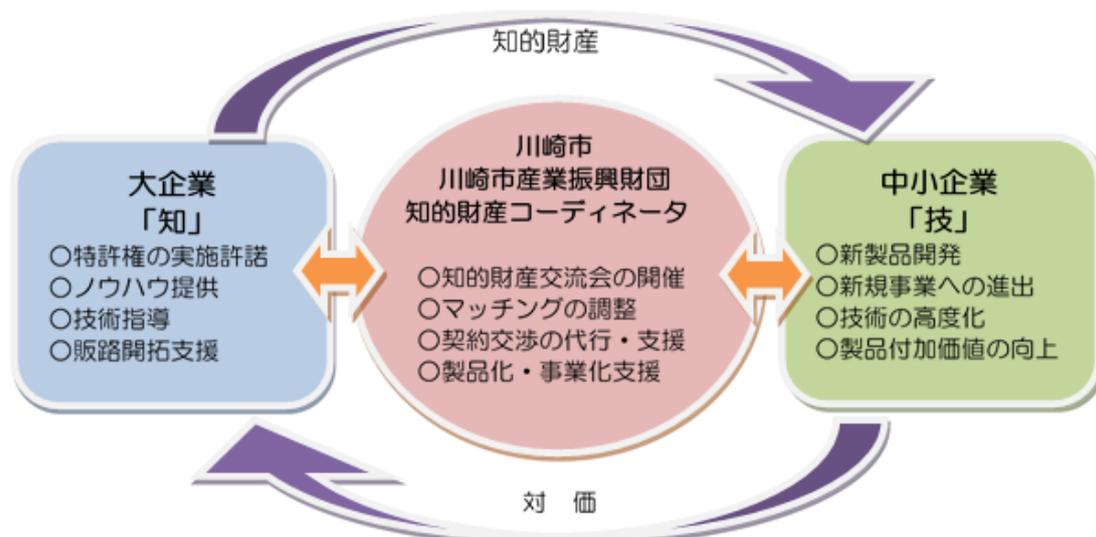
財団コーディネータが各種施策活用まで継続的に手引・支援
年間500社ペースで前向きな企業様へ訪問し、強みを深く理解



知的財産交流事業 (川崎市知的財産戦略推進プログラム重点事業)

大企業や研究機関等が保有する開放特許等の知的財産を中小企業に紹介し、マッチングから製品開発、販路開拓に至るまでの総合的な事業化支援を行います。

【新産業振興課 連携推進係／044-548-4164】

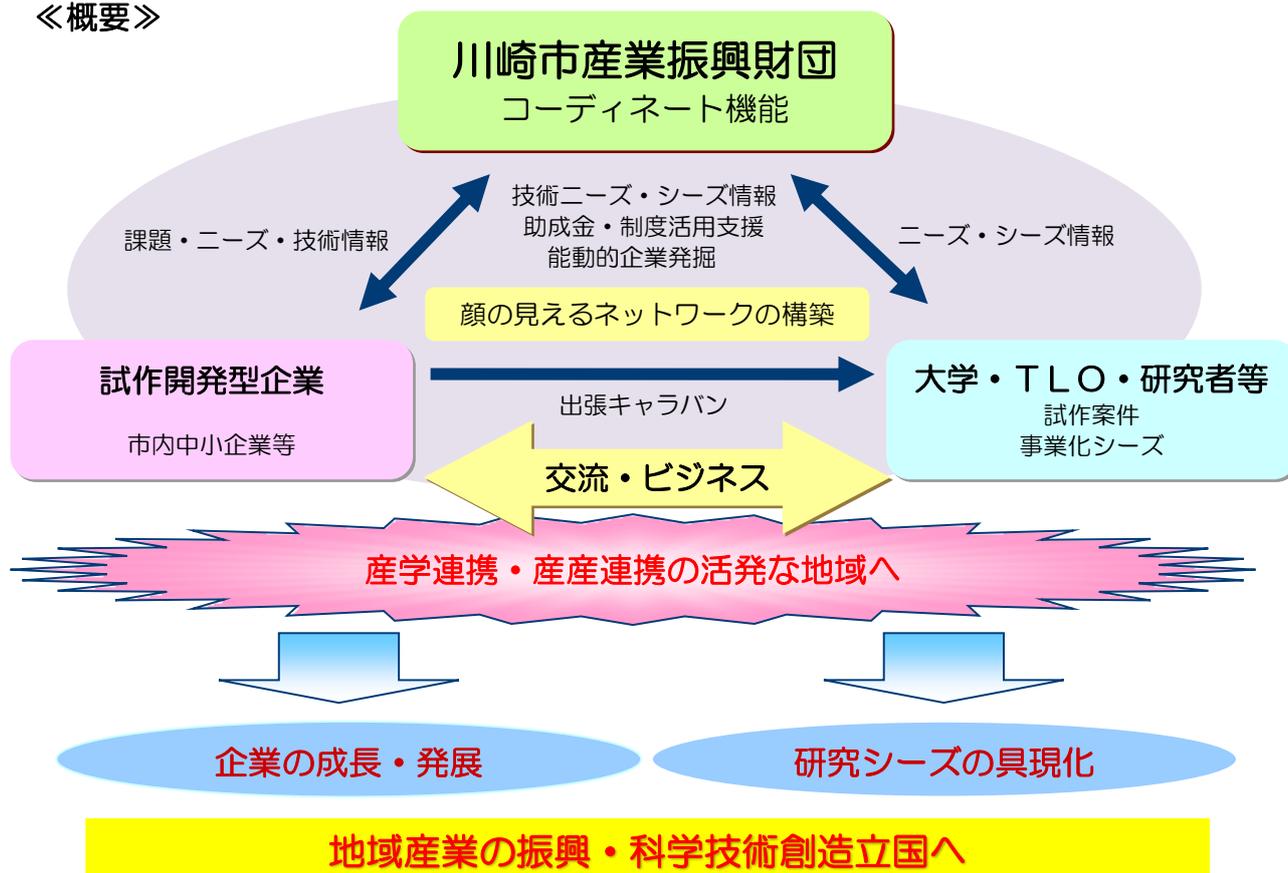


産学連携 試作開発促進プロジェクト

川崎市域に集積する中小製造業の重層的な技術基盤が大学の研究開発のスピードアップ、精度向上につながるという視点から、「大学から企業への技術移転」という一般的な産学連携だけでなく、「企業から大学への試作支援」といったシーズ研究段階における連携促進に向けたアプローチを行い、大学等の研究機器等に係る試作支援を通じて相互の信頼関係を築きながら、中小企業の技術力の向上、産学共同研究開発の促進など、「ものづくり都市・川崎」ならではの新たな産学連携を目指します。

【新産業振興課 新事業支援係／044-548-4165】

《概要》



川崎市産業振興財団の中小企業支援活動

公益財団法人川崎市産業振興財団（中小企業サポートセンター）は、中小企業を応援する総合支援機関です。経営改善、新規創業、販路開拓など、様々な課題についてサポートします。

■窓口相談等事業

【中小企業サポートセンター／044-548-4143】

企業が直面する経営、税務、技術、特許等の様々な課題に対し、各分野の登録専門家が無料で適切な助言を行います。

■専門家派遣事業

【中小企業サポートセンター／044-548-4159】

有料で登録専門家を一定日数企業に派遣し、企業診断と課題解決のために必要な助言を行います。

■ワンデイ・コンサルティング

【中小企業サポートセンター／044-548-4159】

経営改善の支援を行う短期の訪問コンサルティングとして、中小企業、個人事業者及び団体等を対象に適切な登録専門家を無料で派遣します。



かわさき起業家オーディション

全国から新規開業や新分野進出につながるビジネスプランを募集してオーディションを行っております。起業への登龍門ともなっており、優れたアイデアにはビジネスパートナーとの面談の場の提供や融資の利用等、アイデアを実現するためのサポートを行っております。

【かわさき起業家オーディション事務局／044-548-4163】

★ 受賞者一覧（第 139 回～第 142 回）

第 139 回 令和 6 年 7 月 19 日	
株式会社タンソーマン GX	中小企業の脱炭素を IT で支援する
PiLink 株式会社	製造業設備保全に革新をもたらすエッジコンピュータの開発
タグル株式会社	アスリート向け生体力学センサー技術による筋肉疲労測定システム
第 140 回 令和 6 年 9 月 20 日	
株式会社丸菱製作所	工場の困ったイマを解決し、町工場のアスになる
株式会社Receipt	第二のマイナンバーをつくる「proovy」
福島 駿太	リーガルサービスを全ての人に「オンライン法律相談サイト」
ファシリティジャパン株式会社	読字困難・ディスレクシア向け 文字を“読む”をサポートするアプリ
第 141 回 令和 6 年 12 月 6 日	
アルム株式会社	製造 AI と完全自動化で世界の製造現場の常識を変える
株式会社 bajji	製造業の脱炭素社内浸透を支援するクラウドサービス「エコいっば」
ロジウィルグローバルサプライ株式会社	「デジタルヒューマン」によるオートメーション越境 AI コマース
株式会社 ObotAI	外国人労働者と職場を繋ぐ AI、多文化共生ソリューション
第 142 回 令和 7 年 3 月 7 日	
codeless technology 株式会社	IT 担当者のいない DX の実現
株式会社 frame and surface	アナログ広告の反響効果を測定する DX ツール「われどこ」の提案
株式会社 nori・nori	貸切バスのタイムシェアリングサービス「NORI・NORI」
株式会社スーツ	チームのタスク管理ツール「スーツアップ」で労働生産性を上げる

* 第 138 回以前の受賞者一覧およびオーディションの詳細等は下記の HP でご確認下さい。
<https://www.kawasaki-net.ne.jp/bizidea/>

第 21 回 川崎ものづくりブランド 認定製品・技術 一覧

(企業名五十音順)

1 再エネ水素蓄電システム「Hydro-power Hub」

ハイドロ パワー ハブ



【申請会社名】

株式会社エノア

〒212-0032 川崎市幸区新川崎 7-7 KBIC119/114 号室

【申請製品・技術の概要】

太陽光発電の余剰電力を活用して水電解装置で水素ガスを生成・貯蔵し、水素燃料電池によって電力をタイムシフトして再利用することができるシステムである。導入実績として陸上養殖場に活用されており、今後は都心部の事業所における再エネ率向上、さらに離島や過疎地域の活性化への寄与が期待される。

2 精密同軸コネクタ「KPCシリーズ」

ケーピーシー



【申請会社名】

株式会社川島製作所

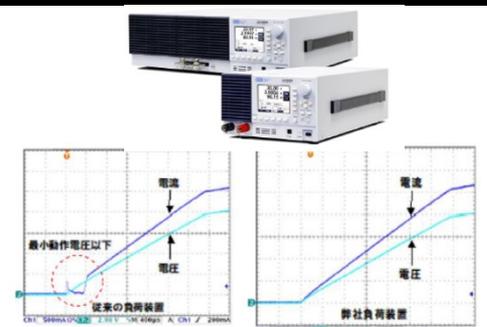
〒214-0031 川崎市多摩区東生田 1-3-5

【申請製品・技術の概要】

IEEE(米国電気電子学会)標準及び IEC(国際電気標準会議)規格に準拠したマイクロ波・ミリ波帯同軸コネクタ。26.5GHz 対応の「3.5mm コネクタ」から、現在は 145GHz まで使用可能な「0.8mm コネクタ」までを取り揃えている。

高精度が要求される精密測定分野での使用は勿論のこと、量子コンピュータ分野における極低温環境(絶対零度付近)という過酷な環境の中でも通信が途切れない安定した性能を持つ。

3 「まるで電子抵抗」電子負荷の高速電流応答技術



【申請会社名】

株式会社計測技術研究所

〒212-0055 川崎市幸区南加瀬 4-11-1

【申請製品・技術の概要】

従来の抵抗負荷や電子負荷装置の「最小動作電圧以下では電流が流れない」という課題を解決し、独自アナログ回路方式により業界最高速の負荷電流応答で、0Vから電流がリニアに変化する「まるで電子抵抗」を実現。パワーエレクトロニクス分野を支える技術として期待される。

4 多機能プラスチックヘラ「^{ES}S★スペラー」



【申請会社名】

有限会社シブヤ

〒213-0013 川崎市高津区末長 4-17-11

【申請製品・技術の概要】

強度・薄さを維持したまま両刃形状に改良された多機能プラスチックヘラ。従来の用途である自動車のラッピングやステッカー「剥し」に加え、油汚れや泥を「落とす」、窓フィルムやシートを「貼る」といった広範囲な機能を持たせている。

2020年の販売開始以降、OEM製造を加えて6万本以上の販売実績を持つ。

5 セルロースナノファイバー完全均一分散・急速乾燥技術



【申請会社名】

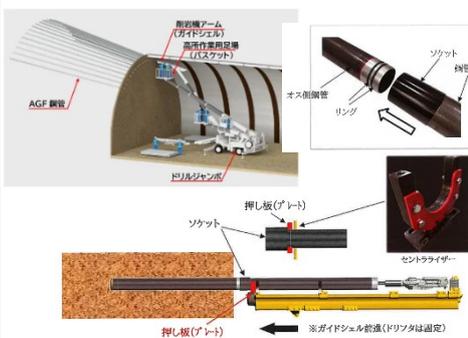
^{せいこう}
株式会社成光工業

〒210-0854 川崎市川崎区浅野町 6-7

【申請製品・技術の概要】

植物を原料とするセルロースナノファイバー (CNF) は、“軽く強い” (鋼鉄の1/5の軽さで5倍の強度) “線膨張率が低い” などの特徴を活かす様々な分野への研究が行われています。成光工業では水だけでなく、樹脂にも完全に均一分散させるとともに、CNFの水分除去にかかる時間を数時間から数分に大幅に短縮したロール乾燥法によって CNF の課題となる製造コストの解決が期待できる。

6 エージーエフ AGF プッシュコネク



【申請会社名】

株式会社トーキンオール

〒210-0854 川崎市川崎区浅野町 4-11

【申請製品・技術の概要】

トンネルの掘削時に地山に鋼管を打設し、薬剤を注入して固めることで崩落を防ぐ AGF 工法 (注込式長尺先受工法)。

従来であれば鋼管を作業員が手作業でねじ込むように連結していたものをソケット式にしたことで、押し込むだけで連結ができ作業時間の短縮・作業員の負担の軽減が期待される。

7 エフエムシー 高品質・低価格・卓上小型券売機「FMC-156V」



【申請会社名】

株式会社ナガシマ製作所

〒210-0015 川崎市川崎区南町 20-3 川崎ビル 6 階 C 号室

【申請製品・技術の概要】

小規模店舗でも設置可能な小型券売機。高額紙幣を含めた現金、クレジットカード、QR、FeliCa など多様な決済方法に対応可能となっており、卓上機には珍しいタッチパネル式。そのため販売製品やメニュー表示のカスタマイズも可能。スペース、価格の面から設置が難しい小型店舗においても導入ができるため、業務効率化や人手不足への対応が期待される。

8 鉛レス・カドミウムレス溶融亜鉛めっき加工技術「ピュアZ」



【申請会社名】

日東亜鉛株式会社

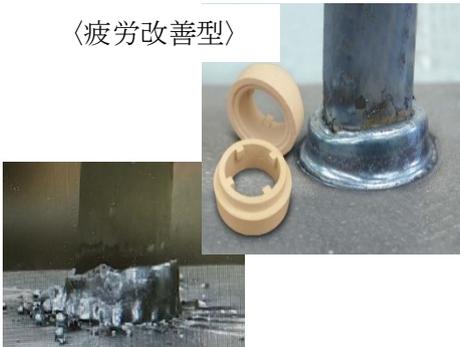
〒210-0866 川崎市川崎区水江町 4-3

【申請製品・技術の概要】

従来の蒸留亜鉛^{じがね}地金に代わり、電気亜鉛地金を使用した溶融亜鉛めっき加工技術。液切れや浸透性などの課題を薬剤の温度や浸漬時間を調整することで解決し、蒸留亜鉛地金に比べて環境負荷物質である鉛やカドミウムを限りなくゼロに近づけ、RoHS 指令（EU が制定した特定有害物質の含有を規制するもの）をクリアしながら、従来の防食性能を保持した溶融亜鉛めっき加工技術。

9 疲労強度改善型フェルール

〈疲労改善型〉



〈従来フェルール〉

【申請会社名】

にっぽん

日本スタッドウェルディング株式会社

〒212-0058 川崎市幸区鹿島田 1-1-2

新川崎ツインタワー西棟 26 階

【申請製品・技術の概要】

溶接時に発生するガスがフェルール上部に抜ける構造のため、溶接部のカラー形状が滑らかになり、従来フェルールに比べて溶接部の疲労強度を向上することができ、建築物や橋梁などの長寿命化に寄与。

また、溶接時に発生する金属の粒（スパッタ）を押さえることができ、除去・清掃に時間を要する時間を短縮。作業者の負担軽減が期待される。

10 薬品の在庫管理システム・セキュリティキャビネット



【申請会社名】

株式会社マキナエンジニアリング

〒213-0031 川崎市高津区宇奈根 666-7

【申請製品・技術の概要】

薬剤保管に関する事故は約 70%が人的要因。薬剤保管庫の開閉と薬剤の入出庫管理、在庫管理において生体認証センサ、重力センサ、RFID(電子タグ)を連動させることで、セキュリティ強化と省力化を実現したセキュリティキャビネット。

医療現場のほか、大学、企業、薬品メーカ、警察、役所などで、薬剤や貴重品管理に需要が見込まれる。

11 石窯 mini



【申請会社名】

株式会社ロビーム

〒212-0052 川崎市幸区古市場 2-121-15

【申請製品・技術の概要】

「石窯 mini」は、世代を超えたコミュニケーションツールとして、どこでもピザ焼き体験ができるポータブルな石窯です。ポータブルな石窯という分野の市販品では数少ない製品です。ロビームは、川崎市古市場の工房で手作業により、ていねいに生産しています。

産・学・官 連携事例集
企業マッチング事例

編集・発行
公益財団法人 川崎市産業振興財団 事業推進課

〒212-0013
川崎市幸区堀川町 66 番地 20 川崎市産業振興会館 7 階
電話 044-548-4139

令和 7 年 3 月発行
(無断転載・複写を禁じる)